



# 地 理

## I ヨーロッパの農業に関する以下の問いに答えなさい。

問 1 表 I—1 は、2008 年における各農産品の上位 10 位までの生産国と生産量を示している。

(1) ①, ②, ③に当てはまるヨーロッパ諸国の国名, および, A, B, C に当てはまる農産品名を答えなさい。(50 字以内)

(2) フランスについて, A から C の各農産品が主に生産されている地域を明記し, それらの地域における農業の特色について答えなさい。(150 字以内)

表 I—1 2008 年における各農産品の上位 10 位までの生産国と生産量(万 t)

順位	A		B		C	
1	①	779	中国	11,246	中国	6,876
2	中国	724	インド	7,857	インド	3,466
3	アメリカ合衆国	664	アメリカ合衆国	6,802	ロシア	2,887
4	②	602	ロシア	6,377	ウクライナ	1,955
5	フランス	566	フランス	3,900	アメリカ合衆国	1,883
6	トルコ	392	カナダ	2,861	③	1,137
7	アルゼンチン	290	③	2,599	ポーランド	1,046
8	チリ	240	ウクライナ	2,589	ベラルーシ	875
9	オーストラリア	196	オーストラリア	2,142	オランダ	692
10	南アフリカ	179	パキスタン	2,096	フランス	681

出所：FAOSTAT

問 2 表 I-2 は、オランダの農業生産の内訳を示したものである。表 I-2 を参考にして、オランダ農業の特色について下記の語句をすべて用いて答えなさい。なお、用いた語句には、全て下線を引くこと。(200 字以内)

輸出      土地生産性      輸送手段

表 I-2 オランダにおける農業生産の内訳

	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2009 年
総生産額 <sup>注)</sup>	16,609	18,060	18,028	18,037	19,847
穀物(%)	1.2	1.1	1.0	0.9	1.0
園芸作物(%)	34.2	38.3	43.8	46.2	46.6
畜産物(%)	55.9	51.2	47.4	43.9	43.6
その他(%)	8.7	9.4	7.8	9.0	8.8

出所 EUROSTAT

注) 総生産額の単位は、1999 年より前が「百万 ECU(エキュー)」であり、1999 年以降が「百万 Euro(ユーロ)」である。1999 年 1 月 1 日に、ECU は、1 対 1 の比率で Euro に置き換えられている。

## II 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

どんな社会組織であれ、社会はしばしば、土地に結び付けられた自然の地形に象徴的な意味を与えたり、あるいは象徴的な意味を持つ人工的な地物を建造したりすることによって、社会統合をはかり、領域や場所の支配を実質化し、あるいはそれらを強化しようとする。

例えば、イギリスの支配を打ち破って独立したアメリカ合衆国では、フランスでデザインされ現在はニューヨークに建つ ① という地物はその国民性や社会経済システムの象徴となっている。フランスでは、写真Ⅱ-Aに示す門が、強力な国家統合と同国の優越性を示す象徴になっている。また、旧ユーゴスラビアでいち早くEUに加盟した ② では、トリグラフ山が象徴とされている。

しかし、その象徴となる地形や地物が、それに意味を付与する主体の支配する領域内部にあるとは限らない。例えば、アルメニアでは、③ 山という地形に国の象徴としての意味が与えられているが、この山は現在、隣国 ④ の領域内に取り込まれてしまっている。

問 1 文中の空欄①～④に適切な単語を入れて、文章を完成させなさい。解答は、解答欄の1～2行目に、空欄番号と共に記すこと。

問 2 植民地化などの結果、都市や領域を支配する政治権力が変わると、この象徴もまた、変化を受ける。図Ⅱ-1は、大韓民国の首都ソウルであり、朝鮮に日本が植民地支配を行っていた時期に建設ないし利用された地物が①から③まで3箇所示されている。これらの地物はそれぞれ、植民地支配者のどのような意図をもってもたらされたか、地図ならびにそれに付随した注記を読んで、述べなさい。解答の中には、3箇所各別の説明、ならびに朝鮮の植民地支配と建造された地物が示す象徴との関係についての全体的な説明を、共に含まなくてはならない。(200字以内)

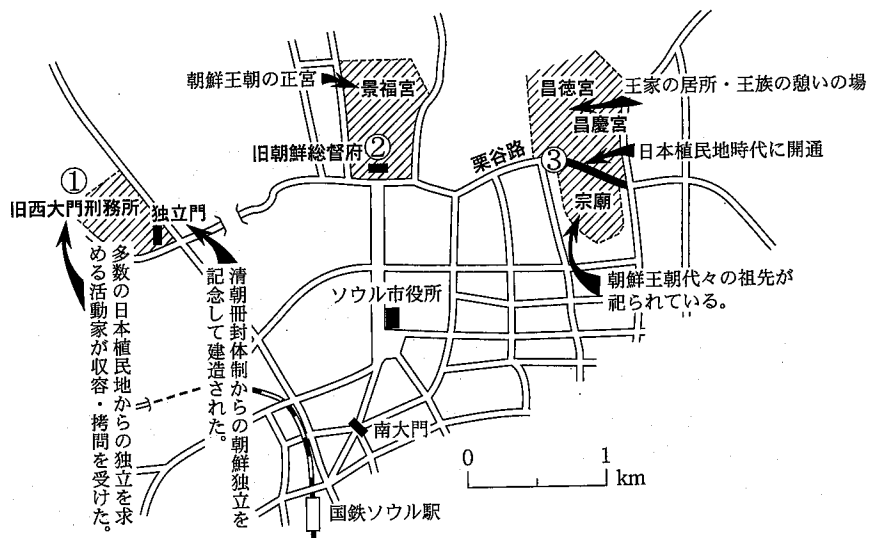
問 3 植民地支配の歴史は、その植民地が独立した後も、旧植民地に象徴をのこす。写真Ⅱ-Bの地物は、ラオスの首都ビエンチャンに、1969年になって建造された。このとき、かつては同じ植民地の一部だったベトナムでは米国の軍事介入が強まり、ラオスでは農村部に本拠を置く共産勢力のパテトラオが首都を包囲する形勢で、ビエンチャンは、旧宗主国の教育を受けたエリート層の最後の拠点となっていた。この史実を踏まえ、このような地物が持つ形態的な特徴と、そのような特徴を持つ地物がビエンチャンにこの時期に建設された理由を、写真Ⅱ-Aとの比較において説明しなさい。(100字以内)

問 4 地形や地物だけでなく、地名もまた象徴的な意味を帯びる。それゆえ、戦争や政治体制の変化などの結果、地名もまた変更されることがある。

次に示すのは、いずれも現在ロシアの統治下にある都市の地名であるが、かつては別の名称で呼ばれていた。その旧称を、解答欄の末尾2行に、○つき数字の番号と共に記しなさい。旧称に漢字が用いられていた場合は漢字で表記すること。

- ① ユジノサハリンスク
- ② ボルゴグラード
- ③ サンクトペテルブルク

図Ⅱ-1



写真Ⅱ—A



写真Ⅱ—B

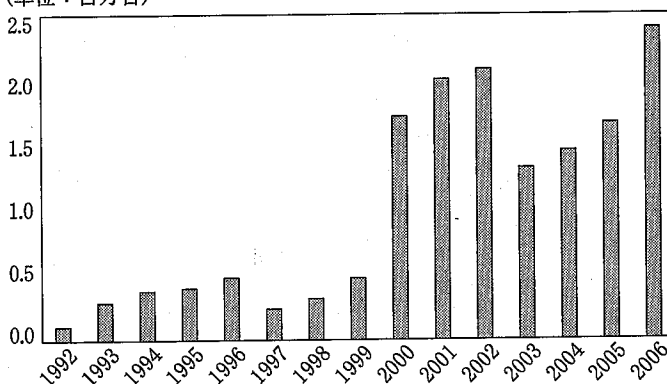


Ⅲ ベトナムに関する以下の問いに答えなさい。

問 1 近年経済発展の著しいベトナムにおいて、自動二輪車産業は最も重要な産業の1つになっている。図Ⅲ-1と表Ⅲ-1を参考にして、最近20年間にベトナムの自動二輪車産業にどのような変化が生じたと考えられるか、そのように推測した理由とともに答えなさい。(250字以内)

図Ⅲ-1 ベトナムにおける自動二輪車販売台数の推移

(単位：百万台)



出所：坂田正三編『変容するベトナム経済と経済主体』  
アジア経済研究所，2008年。

表Ⅲ-1 ベトナムの自動二輪車の国・地域別輸入額の推移

(単位：百万米ドル)

	完 成 車				部 品			
	中 国	台 湾	日 本	タ イ	中 国	台 湾	日 本	タ イ
1998	0.40	19.73	26.77	50.52	0.73	6.21	3.41	47.32
1999	45.40	7.40	18.74	43.80	2.20	7.97	2.94	49.61
2000	418.59	3.11	20.49	51.29	23.92	27.75	4.30	81.76
2001	425.95	2.68	13.98	10.54	84.97	28.23	10.80	59.40
2002	50.15	10.81	8.35	0.20	131.58	59.98	13.51	51.18
2003	6.10	5.64	14.08	0.00	58.97	48.62	7.22	40.35
2004	7.85	2.98	5.08	0.94	92.14	65.93	7.42	57.78
2005	31.55	1.37	3.88	0.02	62.12	38.55	7.27	74.37

出所：三嶋恒平『東南アジアのオートバイ産業』ミネルヴァ書房，2010年。

問 2 表Ⅲ—2とⅢ—3は、ベトナムの主要貿易相手国・地域との貿易額の推移を示している。表中の①～④はそれぞれの国を表すか答えなさい。なお、①～④は、EUにもASEANにも加盟していない国である。また、解答は、解答用紙の1行に収まるように書くこと。解答欄のマス目は無視してもよい。

表Ⅲ—2 ベトナムの主要貿易相手国・地域への輸出額の推移

(単位：百万米ドル)

	1996	1998	2000	2002	2004	2006	2008
①	204	469	733	2,453	5,025	7,845	11,887
EU	849	2,079	2,845	3,163	4,968	7,094	10,896
ASEAN	1,653	1,945	2,619	2,435	4,056	6,633	10,338
②	1,546	1,515	2,575	2,437	3,542	5,240	8,468
③	340	440	1,536	1,518	2,899	3,243	4,850
オーストラリア	65	472	1,273	1,328	1,885	3,745	4,352
④	558	229	353	469	608	843	1,794
台湾	540	670	757	818	891	969	1,401
香港	311	318	316	340	380	453	877

出所：ベトナム政府統計局

表Ⅲ—3 ベトナムの主要貿易相手国・地域からの輸入額の推移

(単位：百万米ドル)

	1996	1998	2000	2002	2004	2006	2008
ASEAN	2,906	3,344	4,449	4,769	7,769	12,547	19,568
③	329	515	1,401	2,159	4,595	7,391	15,974
台湾	1,263	1,378	1,880	2,525	3,698	4,825	8,363
②	1,260	1,482	2,301	2,505	3,553	4,702	8,240
④	1,781	1,421	1,754	2,280	3,359	3,908	7,255
EU	1,153	1,246	1,317	1,841	2,682	3,129	5,582
①	246	325	363	458	1,134	987	2,647
香港	795	557	598	805	1,074	1,441	2,633
インド	88	109	178	325	594	880	2,094

出所：ベトナム政府統計局



問 3 表Ⅲ—4 とⅢ—5 は、ベトナムとの貿易額の少ないミャンマーとブルネイを除いた ASEAN 加盟国とベトナムとの間の貿易額の推移を示している。ベトナムは、ASEAN 加盟国の多くとの貿易において、輸入額が輸出額を上回る状態が続いているが、カンボジアと⑥の国については、輸出額が輸入額を上回る状態が続いている。⑥の国名を答えた上で、なぜ⑥の国との貿易においてはベトナムからの輸出額がその国からの輸入額を上回る状態が続いているのか説明しなさい。なお、⑤、⑦、⑧の国名については答える必要はない。(125 字以内)

表Ⅲ—4 ベトナムから ASEAN 加盟国(ブルネイとミャンマーは除く)への輸出額の推移

(単位：百万米ドル)

	1996	1998	2000	2002	2004	2006	2008
⑤	1,290	741	886	961	1,485	1,812	2,714
マレーシア	78	115	414	348	624	1,254	2,030
⑥	132	401	478	315	499	783	1,825
カンボジア	99	75	142	178	384	781	1,532
⑦	107	295	372	227	518	930	1,289
インドネシア	46	317	249	332	453	958	751
⑧	25	73	71	65	68	95	160

出所：ベトナム政府統計局

表Ⅲ—5 ベトナムの ASEAN 加盟国(ブルネイとミャンマーは除く)からの輸入額の推移

(単位：百万米ドル)

	1996	1998	2000	2002	2004	2006	2008
⑤	2,033	1,964	2,694	2,534	3,618	6,274	9,378
⑦	495	674	811	955	1,859	3,034	4,906
マレーシア	200	249	389	683	1,215	1,482	2,596
インドネシア	149	257	345	363	663	1,013	1,729
⑥	29	68	63	101	188	343	389
⑧	68	131	106	63	74	167	279
カンボジア	18	42	37	65	131	170	214

出所：ベトナム政府統計局